

- 2014年4月1日から2017年4月30日まで岡山大学病院 歯科麻酔科において口唇口蓋裂手術の麻酔管理を受けられた6歳以下の患者さまへ -

「歯科・口腔外科手術におけるマイクロカフ小児用気管チューブ（オーラルカーブタイプ）の使用に関する後向き調査」へご協力をお願い

研究機関名 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科
岡山大学病院

研究機関の長 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科
研究科長 那須 保友
岡山大学病院
病院長 金澤 右

研究責任者 岡山大学病院 歯科麻酔科
講師 樋口 仁

1. 研究の概要（研究の背景、目的及び意義）

全身麻酔を行う際には人工呼吸用のチューブを気管へ入れます。成人ではチューブの先にカフが付いたチューブを用いますが、これまで小児では小児用のカフ付きチューブがなく、カフ無しチューブを用いるのが一般的でした。しかし近年日本においても小児用のカフ付きチューブが使用できるようになりました。本研究は口唇口蓋裂手術において小児用のカフ付きチューブを用いた症例とカフ無しチューブを用いた症例を比較し、本手術における小児用のカフ付きチューブの有用性を検討するものです。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2014年4月1日から2017年4月30日まで岡山大学病院 歯科麻酔科において口唇口蓋裂手術の麻酔管理を受けられた6歳以下の患者さま50名程度を対象とします。

2) 研究期間

2017年5月開催の倫理委員会承認後 ～ 2019年3月31日

3) 研究方法

過去に岡山大学病院 歯科麻酔科にて口唇口蓋裂手術の麻酔管理を受けた6歳以下の患者さまのカルテをもとに、使用した人工呼吸用チューブを調査します。

4) 使用する情報

研究に使用する情報として、診療録から抽出した情報を使用させていただきますが、あなたの個人情報は削除し、連結可能匿名化し、個人情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

5) 情報の保存及び廃棄の方法、二次利用

本研究に使用した情報は研究終了後5年間、岡山大学歯科麻酔科医局内で厳重に保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。保存期間終了後は電子情報はコンピューターから削除しその他の情報はシュレッダーで裁断し廃棄します。

6) 研究計画書および個人情報の開示

代諾者のご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、この研究の計画および研究の方法に関する資料を入手または閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、この研究におけるあなたの個人情報等の開示は代諾者が希望される場合に行います。この研究の結果はあなたの個人情報が分からない形にして学会、論文で発表しますのでご了承下さい。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2017年8月31日までに下記の連絡先までお申出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

岡山大学病院 歯科麻酔科
086-235-6813(歯科麻酔科外来)

講師

樋口 仁